

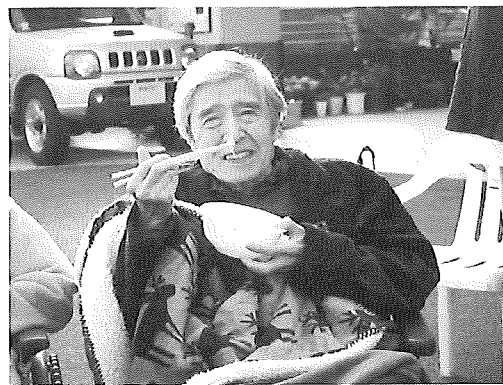
# 特別養護老人ホーム 第二天神の杜

# ま す な

- 絆 -

第 4 1 号

2021年12月27日発行

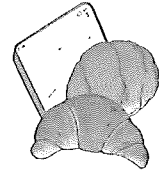


無病息災を願う冬の風物詩  
「大根焼き」

第二天神の杜 家族の会  
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

# 第二天神の杜サークル活動の紹介

第二天神の杜では、開設当初から「サービスの質の向上」を目的に組織や職制の枠を越えて各職種の職員が集まり、全員参加、自主運営などを基本にサークル活動をおこなっております。年度末には各サークルの活動を報告して、その内容に応じて表彰しています。6つあるサークル活動の中で今回は『まんぷくサークル』の活動紹介をさせていただきます。



9月3日・10月7日・11月5日  
パン名人によるモーニング OPEN！！





11月20日 うどん名人による実演ありのうどん企画！！



うどん



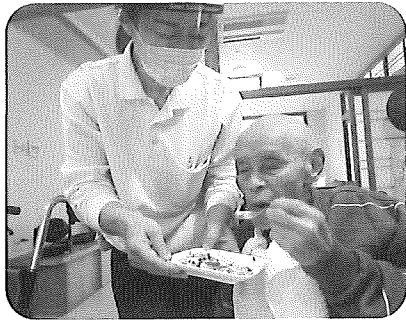


# ユ ニ ツ

## わかくさ

11月22日 お好み焼き

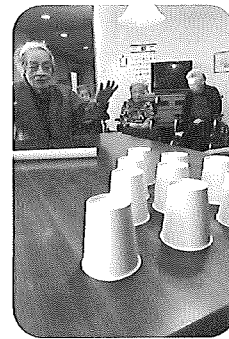
新しい入居者様の好きなお好み焼きを作り、みんなでいただきました。



## さわらび

10月29日 秋のさわらび大運動会

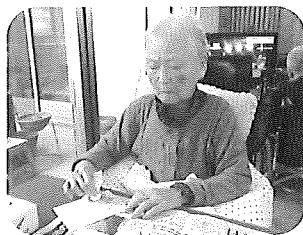
チーム分けを行い、それぞれ自身のチームが勝てるように、各競技を頑張って参加されていました。



## なでしこ

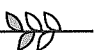
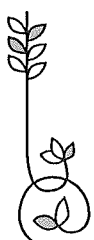
10月8日 24日 お誕生日会

高橋様 89歳、田井中様 100歳のお祝いをしました。



11月16日 ステンシルで絵葉書

秋の絵葉書を作りました。

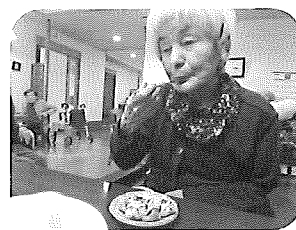
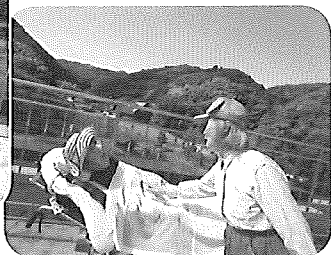


# ト 報 告

## ききょう

10月15日 屋上へ散歩

夏の暑さも少しずつ落ち着いて、屋上で日光浴などをして秋の空気を感じておられました。



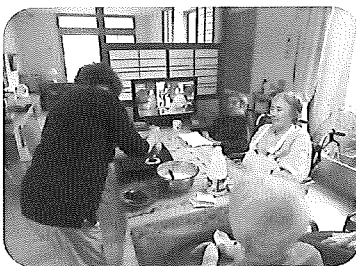
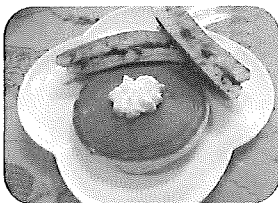
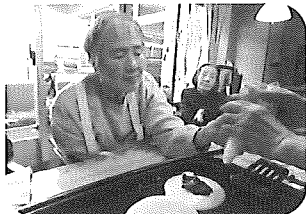
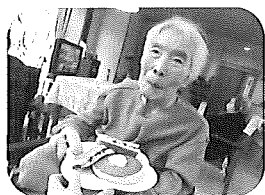
11月14日 古川様歓迎パーティ

大好きなたこ焼きをたくさん焼いて、みんなで美味しくいただきました。

## はぎ

11月21日 ホットケーキ作り

できたてで熱々のホットケーキを口いっぱい頬張りながら美味しくいただきました。



## こぐり

11月6日 青木様 96歳お誕生日会

少し早くお祝いしました。笑顔いっぱい喜んでいただきました。



11月12日 田中様 106歳お誕生日会

田中様が大好きなちらし寿司で、皆様とお祝いしました。



## ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に取り上げています。家族様から寄せていただいたお話をご紹介します。

## 母のこと、そして父のこと

高田 秀行

母がこの第二天神の杜に入っておよそ四年、後から入った父も丸三年になるでしょうか。母がこちらでお世話になるようになってからは、デイサービスのヘルパーさんのお世話になりながら一人で家に残って暮らしておりました父も、たまたま同じこちらのホームに空きがあったので試しに入れてもらった当初は、すぐに家に帰りたいと言いつつのではないかと心配しておりましたが、スタッフの皆様のお陰で前より食事も規則正しく取れるようになり部屋は別々ですが毎日母とも会って機嫌よく過ごしているようで私もホットしている今日この頃でございます。



母は昭和7年1月1日が誕生日で、元日が誕生日でお目出度いようですが、昔は数え年で年齢を言うことが多かったので本当は前年の12月末に生まれたみたいですが、「生まれてすぐ二歳というのは可哀そうや」と出生届を出すのを遅らせたのでこの日が誕生日になったらしいと聞きました。お正月になると「明けましておめでとうは言うてくれても、誰も私に誕生日おめでとうは言うてくれへん」とこぼしていたのを思い出します。母の実家は桂にあり父親は雅号を嘯月（しょうげつ）と名乗る図案家で、友禅染の下絵を描く京都でも名の知れた存在だったようで家には内弟子さんも居たりなんかして、ちょっとお嬢のように育ったようなところもあり、スタッフの方々にも生意気な物言いをしてご迷惑をお掛けしているのではないかと少々心配もしております。明德女学校を出た後、当時長岡にあった明治製菓京都工場に勤めるようになりそこで出会った父とは職場結婚で昭和29年2月に式を挙げました。結婚した当初はしばらく長岡天神下の借家に間借りして暮らしておりましたが翌年私が生まれた頃には桂離宮の桂川をはさんだ東側の西京極に住むようになり、昭和41年に当時宅地開発の盛んだった長岡京市（当時は長岡町）に転居してまいりました。自宅の手芸と編物の教室を開くようになり、その頃編み機の主流メーカーであったブラザーとシルバー編機の講師の資格も取りコンピュータなどまだ発達していなかったその当時はパンチカードに穴をあけて機械に通すとその穴の通り編み込み模様が出来るという最新式の機械で、編み機を買ったら付いてくる講習券を持った生徒さんが習いに来たり、また刺繍やリボンフラワー、クラフトテープで籠を編んだりする手芸なども教えておりました。材料を買った若い生徒さんがデートで休んだりして作品がなかなか仕上がらなくなると、「あんたちょっとやっといたげて」と助っ人を頼まれちょっとした私の小遣い稼ぎになったこともありました。歳を取ってからは生徒さんも来なくなり休業となりましたが、その後はカラオケにはまって、昼間からカラオケ喫茶に行ったりして演歌の新曲を次々と覚えて自慢したりしておりましたが、行くお店もなくなりそれも出来なくなると次第に老化が進んでいったようで、父に話を聞いてもらえないと明け方に家を出て近所を徘徊するなんてこともあったりしてこちらでお世話になるようになった次第です。

さて、父の方はと申しますと、大正14年12月10日の生まれで今日96才の誕生日を迎えました。6人兄弟の下から2番目で兄弟も多かったので高等小学校を出て直ぐに当時の国鉄に勤務するようになり、蒸気機関車に乗って石炭をくべる釜焚きをして「食堂車に蒸気を送ってやったらコーヒーを飲ましてくれたりしてなあ」と嬉しそうに話しておりました。その後、明治製菓京都工場に転職し、そこで母と出会うこととなります。結婚当初、長岡天神下の借家に間借りしていた頃は、競馬場が今の乙訓高校のあたりにあったようで、たまに行ったりしていたようです。その後明治製菓は高槻の大阪工場に移転して通勤が便利なのと、会社の知り合いも多く住んでいたこともあり昭和41年に長岡に転居してまいりました。学校や町内会からの社会見学があったりして父の職場へ行く機会も何度かありましたが、購買部では社員割引で製品が買えるので一緒に見学に行ったご婦人方が、「私も、私も」と父の所に寄って来て購買部に連れて行ってもらえるのでちょっと私も鼻が高かったような記憶もあります。子供の頃我が家の冷蔵庫には箱入りのチョコレートがいつも入っていたのですが、遠足のおやつは一人60円以内という学校の決まりがあり1枚50円の板チョコを持って行くと他のおやつは10円分しか買えなくなるので、チョコレートを持って行くのを断念するという贅沢な悩みもありました。会社の取引先や、明治製菓がスポンサーのイベントなどにもよく連れて行ってもらい、甲子園球場で日米野球が開催された時なんか、関係者入口からベンチ裏の選手食堂まで行けて、当時セパの三冠王として活躍中の野村克也選手と王貞治選手に一枚の色紙に並んでサインを貰ったりして今ではお宝ものですがあの色紙は一体どこへ行ってしまったのか定かではありません。

断片的な思い出を振り返りながら長々と書いてしまいましたが父と母の歴史の一部をご紹介させて頂きました。まさかこんなに長く続くとは思ってもいなかった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により過酷な状況下で活動されているスタッフの皆様をはじめ感染防止に奮励されている方々のご尽力には心より感謝申し上げます。これからも何卒宜しくお願い申し上げます。

## 家族の会活動報告

10月10日(日)に家族の会役員会を開催し、上半期の活動報告や今後の活動計画について話し合いました。

昨年同様、役員会後に役員と施設職員とで施設近隣のゴミ拾い(クリーンアップ作戦)を実施しました。



下半期の活動としては、

- ・年末の大掃除とユニット懇談会は中止になりました。
- ・クリスマスケーキと鏡餅を贈呈しました。

きれいで心地よい空間で面会していただくために家族の会から空気清浄機を贈呈していただきました。  
ありがとうございます。  
※喫茶コーナーに設置しております。





## 家族の会ご挨拶



会長 福田 竜造



初冬の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より皆様には家族の会の運営や活動に何かとご理解とご協力をいただきまして誠に有難う御座います。

令和3年も後数日で終えようとしているのですが振り返ればまたこの一年、家族の会としてこれと言った活動が出来なかった虚しく歯痒い思いがしております。

そんな中、入居者の方に少しでも季節感を…と言う職員皆さんの思いやりから開催された「納涼祭」の事を知りました。例年行われていた「夏祭り」の雰囲気そのまま三階の多目的ホールに再現して職員皆さんのアイデアを持ち寄り感染予防に留意しながら屋台で焼きそば、たこ焼き、綿飴、冷やし飴、等々、第二天神の杜らしい妥協一切無しで行われた「納涼祭」だったと伺いました。

その様子は「きずな」第40号にも写真が沢山掲載されておりましたが入居者の皆さんが本当に楽しそうな笑顔をされていてその写真を見ていると少し気持ちが楽になった様な気が致しました。

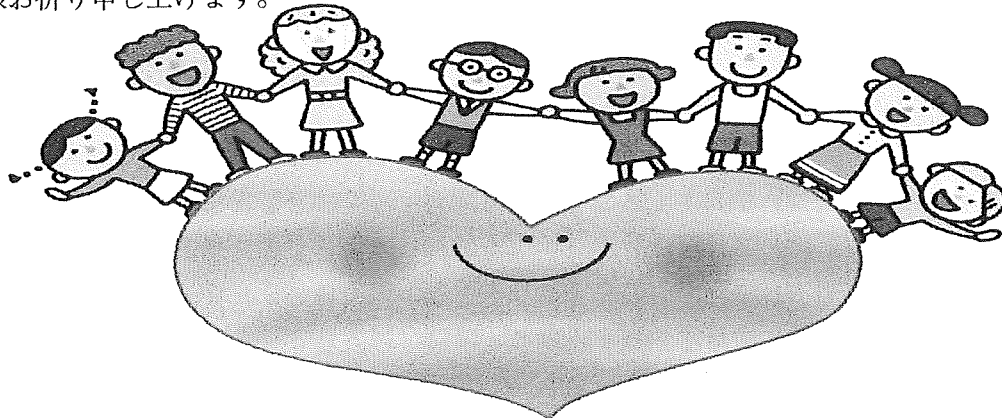
新型コロナの国内の感染者数は日々減少してはいますが未だ未だ油断出来ないのが現状だと感じております。

一刻も早く以前と変わらない生活に戻り、入居者の皆さんと入居者家族の皆さんと一緒に笑顔になれる様な活動を家族の会としては企画し実行していきたいと考えております。

今後の家族の会と致しましては毎年恒例では有りますが12月24日にクリスマスケーキを、年末には鏡餅と正月飾り用のお花を入居者様に贈呈させて頂く事になっております。

また、今年度はお正月らしく松竹梅などを模ったお菓子を元旦にお茶と一緒に楽しんで頂こうと考えております。

入居者様、会員の皆様、職員の皆様におかれましては年末年始を健やかに過ごしになられます様お祈り申し上げます。



社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地  
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

【掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。】